

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川近代文学館		
所在地	横浜市中区山手町110		
サイトURL	https://www.kanabun.or.jp		
根拠条例	神奈川県立神奈川近代文学館条例		
設置目的(設置時期)	近代文学に係る図書及びその著者の遺品等を収集し、整理保存し、及び展示し、並びに近代文学に係る図書を閲覧に供するとともに、併せて県民に文化活動の場を提供するため。(昭和59年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川文学振興会		
指定期間	H28. 4. 1～R3. 3. 31 (2016年)(2021年)	施設所管課 (事務所)	文化課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>平成30年度も年間展示入館者数が5年連続で4万人を超え、好調を維持できた。利用者満足度も高く、収支状況も良好だったため、3項目評価はA評価となった。若年層向けのキャンペーンをはじめ、フランス大使館などから協力を得た初の外国作家展(生誕150年記念 詩人大使ポール・クローデルと日本展)開催、横浜市から協力を得て周辺区域を取り込んだ劇場型の展覧会(寺山修司展)など展示やイベントの工夫が入場者増につながった。今後もさらに多様な分野の展示や集客力のあるイベントを実施し、近代文学及び文学館への興味を喚起できる取組の充実を期待する。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 年間の展示室入館者数は5年連続で4万人台を記録し、これまでの好調を維持した。平成30年度末の2019年3月から開催した特別展「巨星・松本清張」では、会期後半に中高年層の来館が増え、清張展会期全体(2019年5月まで)では15,471人が来場した。</p> <p>◆利用状況 展示室・閲覧室・会議室の利用者数は、目標の66,000人を上回る70,427人となり、目標比達成率は106.7%でA評価となった。前年度と比較すると、会議室では利用者数が伸びたものの、展示室・閲覧室では利用者数減となり、全体で5,174人の減となった。</p> <p>◆利用者の満足度 9月～11月の特別展「寺山修司展」(入場者数12,358人)の実施時期に来館者とホームページ閲覧者を対象に満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が98.5%となったため、S評価となった。回答数は、来館者アンケートでは昨年度の220件から356件、webアンケートでは13件から30件と、いずれも増加した。webアンケートについては、屋外展示物案内地図に記載したwebアンケート画面へのリンクによって回答数が増加したと考えられる。今後も回答数増に向けて取り組んでほしい。</p> <p>◆収支状況 前年度と比較すると、秋に開催した寺山展で20～65歳未満の入館者数が大きく増加し、入館料が割引となる65歳以上の入館者数が相対的に減少したため、観覧料収入が増加した。また、会議室利用料についても増加した。収支比率は100%であり、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 来館者から寄せられた要望等については、近代文学館で適切に対応した。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故等については適切に対応している。なお、平成30年1月24日に発生した第1展示室天井裏からの水漏れについて、12月3日県施設整備課の二次劣化診断を行った。屋根や外壁等外部からの水の侵入はなく、結露等によるものと推測される。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 平成30年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。(集客を目指す展示、独創性のある展示、他機関との連携など、事業の広がりを意識した展示など)</p>	<p>4～5月 特別展「与謝野晶子展」入場者数 11,033人 (3/17から開催・会期合計13,967人) 5～7月 企画展「詩人大使ポール・クローデルと日本展」入場者数 3,911人 7～9月 企画展「石井桃子展」入場者数9,639人 9～11月 特別展「寺山修司展」入場者数12,358人 12～1月 スポット展示「広津和郎と絵画」(常設展「文学の森へ 第3部」併設) 入場者数1,362人 1～3月 企画展・収蔵コレクション展17「花田清輝展」(常設展「文学の森へ 第1部」併設) 入場者数2,082人 3月 特別展「巨星・松本清張」1,949人 (5/12まで開催・会期合計15,471人)</p>	<p>年間展示観覧者数は「与謝野晶子展」「寺山修司展」などの好評に牽引され、年間で42,334人の入館者があり、5年連続で4万人を超え、好調を維持できた。「与謝野晶子展」では、横浜市観光局などとともにコミックスとコラボレーションしたスタンプラリーを実施し、若年層の入場者数を伸ばした。また、フランス大使館等の協力を得た初の外国人作家の個人展(ポール・クローデル展)を開催したり、寺山展では横浜市の協力を得て周辺地や館施設全体を使った劇場型の演出など様々な工夫を行い、入場者数の増加を図った。</p>
<p>・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会も積極的に開催する。</p>	<p>冬期のスポット展示「広津和郎と絵画」と収蔵コレクション展17「花田清輝展」では館蔵資料を活用し、各作家の生涯と作品を顕彰し、好評を得ることができた。</p>	<p>近代文学館の所蔵する貴重資料を活用し、過去に各分野で一時代を築いた作家の紹介にも配慮している。</p>

<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会などの企画を開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>4～5月 与謝野晶子展記念講演会 3回 同 展記念朗読等 1回 同 展ギャラリートーク 6回 (会期内8回) 5～7月 Pクローデル展記念講演会 1回 同 展対談 1回 同 展俳句シンポジウム 1回 同 展創作能VTR上映会 1回 同 展ギャラリートーク 3回 (高校生向け事業 1回) 7～9月 石井桃子展記念講演会 1回 同 展対談 1回 同 展VTR上映と講演 1回 同 展ギャラリートーク 4回 (かなぶんキッズクラブ <映画会、紙芝居、 絵本の読み聞かせほか> 4回) (DVD上映会 1回) (朗読コンサート 1回) (朗読とシンポジウム 1回) 10～11月 寺山修司展記念講演会 1回 同 展シンポジウム 1回 同 展朗読とトーク 1回 同 展トークイベント 1回 同 展ギャラリートーク 8回 NHK-FM公開録音(朗読会) 1回 (「文字・活字文化の日」記念行事 <ギャラリートーク、バックヤード見学等> 1回) (高校生向け事業 1回) 12～1月 (かなぶん連句会 1回) (高校生向け事業 1回) (子ども読書活動推進フォーラム 1回) 2～3月 花田清輝展記念講演会 1回 同 展ギャラリートーク 4回 (かなぶん寄席(講演会) 1回) (かなぶんキッズクラブ <映画会・紙芝居> 2回) 3月 松本清張展ギャラリートーク 2回</p>	<p>展覧会に連携した講演会、文字活字文化振興を目的とした朗読コンサート、講演会等の各種イベントを実施した。与謝野晶子展、石井桃子展、寺山修司展の記念講演会等満員となるイベントも多く、盛況となった。</p>
<p>・専門館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。〔参考〕レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、仲介的な立場から援助するサービス。利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。</p>	<p>レファレンス件数 234件</p>	<p>利用者からのさまざまな問合せに対応し、専門的施設としての役割を果たした。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	73,166	75,601	70,427
対前年度比		103.3%	93.2%
目標値	65,000	65,000	66,000
目標達成率	112.6%	116.3%	106.7%

目標値の設定根拠：

経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 観覧券の枚数、受付係員がカウント(展示観覧者数)+閲覧カウンター職員がカウント(閲覧室利用者数)+利用申請者が予約システムに入力した人数(会議室利用者数)

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート	今秋の「寺山修司展」は昨秋の「山本周五郎展」より5,000人以上入場者が増加した。年齢構成では、入場者の約56%が65歳以下で、65歳以上の入場者が4割近くを占めた。昨年の山本周五郎展と比較すると、若年層がより多くなっている。来館者アンケートでも50歳代までが63.5%にのぼった。寺山展では例年に比べ、Webアンケートでのコメントが多い。寺山展では横浜市の協力を得て港の見える丘公園内に寺山の言葉を記したオブジェを設置した。その案内地図にWebアンケートへのリンクQRコードを入れたことにより、観覧後、館外に出てからWebアンケートに回答してくださった方が多かったと推測される。展示内容が「良くなった」の理由として「映像、視覚的に訴えている」「オブジェ等で雰囲気がよく出ていた等、「寺山修司展」での新しい試みへの評価が多く寄せられた。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 来館者：11. 以下の項目について、どのようにお感じになりましたか。>④全体評価
web：【問3】 展示内容等について、どのようにお感じになりましたか。>全体評価

実施した調査の配布方法 受付等に配架、HP掲載 回収数/配布数 386 / =

配布(サンプル)対象 来館者、HP利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	159	94	3	1	257	和やかな空気の中、展示を観られた。来る度違う発見がある/安くてよい/全体的に対応が良かった [立地が]もう少し[駅に]近い方が[よい]
回答率	61.9%	36.6%	1.2%	0.4%		
前年度の回答数	83	51	1	0	135	
前年度回答率	61.5%	37.8%	0.7%			
回答率の対前年度比	100.6%	96.8%	157.6%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算額/収支差額の当初予算額
前々年度	当初予算	399,566	8,974	7,154	受取利息収入 141 事業収入 6,429 立替金収入 155 雑収入 429	415,694	415,694	0	
	決算	399,566	15,522	8,536	受取利息収入 85 事業収入 8,038 立替金収入 178 寄付金収入 25 雑収入 210	423,624	423,606	18	100.00%
前年度	当初予算	399,566	9,024	7,204	受取利息収入 32 事業収入 6,479 立替金収入 155 雑収入 538	415,794	415,794	0	
	決算	399,566	13,581	6,851	受取利息収入 15 事業収入 6,136 立替金収入 181 雑収入 519	419,998	419,993	5	100.00%
2018年度	当初予算	399,566	9,074	50,946	受取利息収入 32 事業収入 6,529 立替金収入 155 雑収入 538 退職給付引当預金取崩収入 43,692	459,586	459,586	0	
	決算	399,566	14,024	50,993	受取利息収入 15 事業収入 5,715 立替金収入 1,274 雑収入 297 退職給付引当預金取崩収入 43,69	464,583	464,579	4	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 □ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	3 件	展示室内に休憩用の椅子を増やして欲しい	各展示担当が会場レイアウト作成時に、休憩スペースを設けるよう確認
	アンケート	1 件	屋外の喫煙場所について、入口に近く受動喫煙が気になる	風向き等により、屋外の灰皿位置を調整
職員対応	アンケート	1 件	観覧者の私語を注意して欲しい	警備員巡回に加え、受付交代時に巡回を実施。職員も随時見廻り
事業内容	アンケート	14 件	「文豪ストレイドッグス」「文豪とアルケミスト」とのコラボ	与謝野晶子展、ポールクローデル展、松本清張展で実施(文豪ストレイドッグス)
	アンケート	1 件	写真撮影をしたい	石井桃子展では展示室入口に記念撮影用スポットを設置。寺山修司展では、出品者の強い意向により、展示室内の一部に撮影可のエリアを設けた
その他		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
2018/8/25	①本館エレベータ電気系統(乗り場、籠内の階数表示が異常)が故障。 ②8月26日メールにて確認。 ③依頼工事として2019年度に見積依頼ができるよう調整。 ④無 ⑤経年劣化 費用負担無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	なし	
職員の配置体制	なし	
労働時間	なし	
職場環境	なし	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。